

あかぎ通信 No.8

あかぎ会議(第5回)・あかぎ環境会議(第3回)を合同開催

令和4年12月20日に前橋市赤城少年自然の家において、「あかぎ会議(第5回)」「あかぎ環境会議(第3回)」を合同開催しました。※今後、2つの会議を合同で「あかぎ会議」として開催していくこととなります。

当日は、地元住民と自然環境団体の方々に34名ご参加いただきました。

日時：12月20日(火) 14:00~15:00
場所：前橋市赤城少年自然の家
参加者：18名(地元住民)
16名(自然環境団体等関係団体)

あかぎ会議(第5回)・ あかぎ環境会議(第3回)の概要

- 1 開会・挨拶
- 2 基本設計受託業者の紹介
(株)成瀬・猪熊建築設計事務所(担当：猪熊・金田)
会社HP：<https://www.narukuma.com/>
- 3 基本設計の進め方
- 4 意見交換
- 5 啄木鳥橋・覚満淵木道のお知らせ



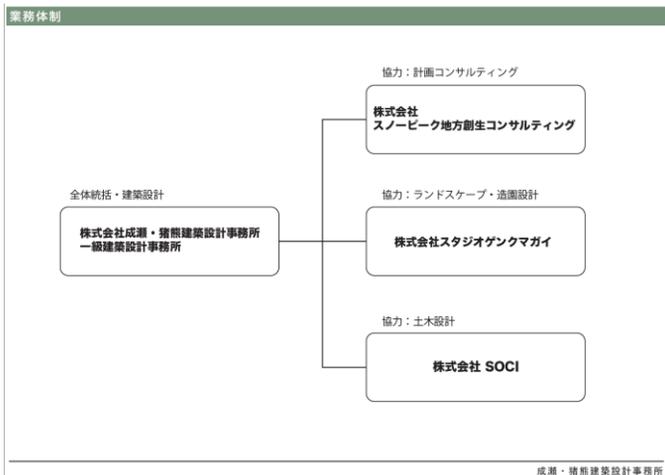
会議の様子



【会議概要】

令和4年10月に公募型プロポーザル方式により公募した「県立赤城公園の活性化に向けた基本設計業務」について、**受託業者：成瀬・猪熊建築設計事務所**が決定したため、**基本設計の進め方を説明し、意見交換**を行いました。

基本設計の進め方



①業務体制（左図）

【元請】成瀬・猪熊建築設計事務所
【全体総括，建築】

【下請】スノーピーク地方創生コンサルティング
【計画監修】

【下請】スタジオゲクマガイ
【景観・造園設計】

【下請】SOCI【土木設計】

②大沼キャンピングフィールド（右図） キャンピングフィールドの整備候補エリアと 整備の考え方について説明



③赤城ランドステーション（左図）

ランドステーションの整備候補エリアと整備の考え方について説明

④スケジュール（右図）

2022年12月 あかぎ会議【今回】
2023年 2月 あかぎ会議【次回】
2023年 7月 基本設計とりまとめ予定



大沼キャンピングフィールド（大沼CF）

- 整備候補エリアに残っている建物はどうするのか。
⇒ 整備開始までに解体できるよう、所有者と協議していく。
- キャンプサイト数はどれくらいなのか。
⇒ 100サイトくらいを予定している。
- 整備候補エリア内の道路も併せて直してほしい。
- ハイキングルートへの入口なので、駐車場を増やしてもらいたい。
- 今回の計画範囲以外も含めて、電柱地中化を進めてほしい。
- エリア内のウラジロモミは残してもらいたい。

赤城ランドステーション（赤城LS）

- ◆ 集会所の機能を統合することは賛成するが、赤城LSをテニスコートに建てるのはどうか。
⇒ 整備候補エリアを選んだ理由は、以下4つのメリットから
 - ① 不足する駐車場が増設できる
 - ② 第三スキー場(広場)と一体利用ができる
 - ③ 既存インフラ(水道, 下水道, 電気等)が整備されている
 - ④ 建築中に現在のビジターセンターが利用できる<賛成・反対（テニスコートへの整備）どちらの意見もあり>
⇒ いただいた意見を踏まえ、次回の会議で説明したい。
- ◆ 覚満淵木道がバリアフリー化したので、テニスコートに障害者駐車場やトイレを整備してもらいたい。
- ◆ 隣接する小学校跡地（体育館・校庭）の利活用も検討してほしい。
- ◆ 路線バスの待合ができる構造（軒下空間）としてほしい。
- ◆ 登山者の荷物預かりができるスペースがあると良い。
- ◆ 宿直できるようシャワー室があるとありがたい。
- ◆ 自然観察会に来る生徒を集められたり、また展示ができるスペースを確保してほしい。
- ◆ 犬を連れた利用者が多いため、外水道を設置してほしい。

今後のスケジュール

令和5年2月17日

あかぎ会議(第6回)：基本設計案の説明

令和5年7月

基本設計とりまとめ（予定）

発行・問合せ先

群馬県 環境森林部 自然環境課

電話：027-897-2754 メール：shizen-koen@pref.gunma.lg.jp